令和7年度 校内研究について

1 校内研究全体テーマ

子どもの学びがつながる授業づくり
～教科の視点で捉えた年間指導計画と単元計画シートの
作成を目指して～

2 今年度の研究について

令和6年度はサブテーマに「学部間の学びのつながりと教材の工夫」として、授業研究を通して子どもの気付きや理解を次の学びへどのようにつなげていくのか話し合い、学びがつながる授業を意識して授業改善を行った。子どもの様子を多角的な視点で見取り、意見を交換する中で、授業改善につなげることができた。今年度は、子どもの様子を見取るだけでなく、教科の視点で目標を設定し、授業実践を行い、子どもたちが何をどのようにできるようになったかを評価できるようなシートを作成していくことにする。また、それらの基盤となる教育課程についても研究を進めることにする。

3 研究の進め方

年間通してグループ（学部を解いたメンバー）を固定する。グループ研究会では、年間指導計画を元に、教科や各教科等を合わせた指導の中から単元（題材）を選び、授業者全員が単元計画シートを作成する。見に行こう強化月間を活用し、子どもの様子を把握するためにグループ内の授業を参観し、研究会では作成した単元計画シートについて話し合う。また、年度末には子どもの学びを共有しながら、来年度の年間指導計画を作成する。グループのチーフは、研究会のファシリテータを行うとともに、グループチーフ連絡会で各グループの報告や調整をし、グループ間の共有を図る。

- (1) 全体研究会(年3回) …①研究の概要説明 ②外部講師研修会 ③実践発表・共有等
- (2) グループ別研究会(年6回)…単元計画シートの作成・報告、シートの改善、年間指導計画の作成
- (3) 見に行こう強化月間(年2回)…グループ内の授業を参観する。
- (4) 研究のまとめ(あかり) …年度末に研究のまとめを「あかり」にまとめる。